

# 生涯學習情報誌

Life Learning

2018  
Sep.  
NO.337



# 「越境的学習を通じた学びなおしの継続」

## ■ まだまだ学びにくい日本の社会人

法政大学大学院政策創造研究科で教授をしている石山氏。通常は学部の上に大学院があるが、政策創造研究科には学部がない。その理由は、独立の社会人大学院だからだ。授業は平日夜と週末にあり、20代から70代まで幅広い年齢層の人が通っているのも特徴である。その社会人学生たちに聞いたところ、一定の割合の人が、大学院に通うことを会社で話していないという。「残業で忙しいのに」「転職するの」などと、肩身の狭い思いをするのが嫌だからだ。

厚労省が毎年、自己啓発を行った労働者の調査をしている。1年間に自己啓発を行った人は、平成29年度の調査結果によれば、正社員では約43%、正社員以外では約20%で、やっている人も約47%は20時間未満だ。別の調査では、「スキルアップが必要」と答えた労働者は、日本のほうが海外よりも高いにもかかわらず、日本では社会人学生は圧倒的に少ない。欧米では大学の学部でも多くの社会人が学ぶなどリカレント教育が盛んだが、日本は社会人大学院の数もまだまだ少ない。また、海外で66%が勤務先から費用の支援を受けているのに対し、日本では41%に留まる。

## ■ 越境的学習の意義

越境的学習とは。いつも自分がいる組織

がホーム、その他をアウエーとしたとき、アウエーで学ぶのが越境的学習だ。そして、この境界を往還することをアウエーで活かし、アウエーで学んだことをホームで活かす。行き来する中でホームに還元することが重要なのだと石山氏は言う。

越境的学習を考える上で重要なのが状況的学習という概念。教室など日常の文脈と切り離された時空間で知識を身につけることが学習転移で、日常のさまざまな状況の中の特定の文脈で学ぶことが状況的学習。人と人の相互作用が大切となる。

これまでの日本企業の学習は、職場での実践を通して学ぶOJTが強みだった。OJTは状況的学習ではあるが、職場内の同質的な強さは身につけても、異質な力は得られない。そういう意味で、企業にとっても状況学習×複数の状況、つまり越境的学習が必要なのだ。



参加者同士で越境学習体験

石山恒貴氏

## ■ 会社のサポートで双方にメリット

越境的学習では、ホーム以外のアイデンティティを身につけることが学びになる。しかし、それをホームに還元する際にホームの人間から反発が予想される。学習者は、元の仕事をよく考える必要がある。同時に、会社側の理解が必要になるだろう。

「やりたいこと」を「できる」に変える会社を目指す、さくらインターネットでは、社外の経験を活かした。パラレルキャリア推進に取り組む。

2018年7月15日 東京大学 情報学環「福武ホール」地下2階

講師：石山恒貴 法政大学大学院政策創造研究科教授、博士（政策学）

1964年、新潟県生まれ。一橋大学社会学部卒業、産業能率大学大学院経営情報学研究所経営情報学専攻修士課程修了、法政大学大学院政策創造研究科政策創造専攻博士後期課程修了、博士（政策学）。一橋大学卒業後、日本電気（NEC）、GE（ゼネラルエレクトリック）、バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社執行役員人事総務部長を経て、現職。越境学習、キャリア、人的資源管理等が研究領域。人材育成学会理事、NPOキャリア推進ネットワーク授業開発委員長。主な著書：『パラレルキャリアを始めよう!』、『越境的学習のメカニズム』

レポート製薬では、社員の社外の経験を社内にかすことを目的に「社外チャレンジワーク」という副業解禁の制度を始めた。石山氏と共同研究している「二枚目の名刺」というNPO法人がある。社会活動をしたくても一歩が踏み出せない人に、いくつかNPOを呼んで説明会を開き、その中で選んだNPOとの協働プロジェクトに参加できる仕組みを構築している、中間支援の機能を持つ団体が「二枚目の名刺」である。ある企業では、その説明会を社内で開催し、社員がそれぞれのプロジェクトに参加した。会社が積極的に仲介して、社員が越境学習をする事例だ。

## ■ 変化の時代に対応するキャリア形成

最後に石山氏は「越境的学習は、キャリア形成にも役立つ」ということを強調した。変化の激しい現代では長期的なキャリア計画をたてるのが難しい。そこで注目されているのが「キャリア・アダプタビリティ」という理論。新しい環境や急な変化にも対応するためには、関心、制御、好奇心、自信の4次元で考える。まずは自身のキャリアに関心を持ち、自分のキャリアを自分で制御し、将来の可能性に好奇心を持って、最後は自信をもって志を成し遂げていくというもの。自分のライフ・テーマを持つことで、どんな変化にも対応できると言われる。

講演の後、知らない参加者同士4〜5人でグループになり、アウエーの越境的学習を体感しながら、講師への質問を考える時間が取られた。



弦、撥、駒（弦を支え皮に音を伝えるもの）  
などの微細な違いで音色が変わる。

# 中棹三味線

## Chuzao-Shamisen

三味線につながる楽器は世界中に見られる。古代エジプトのネフェルに始まり、イランのセタール、中国の三絃などだ。日本には、琉球の三線（蛇皮線）として、16世紀後半に大坂・堺に伝わった。

当時の日本は、階級ごとにやってよい音曲や楽器が定められ、雅楽は宮廷・社寺の、能は武家の、祭音曲は庶民のものとされていた。琉球から渡来した三線は一般庶民に開放され、三味線（三つの味わいのある線）の名で日本中に広まった。撥で演奏するなど改良を加えたのは琵琶法師たち。江戸時代には、歌舞伎、人形芝居、他の楽器との合奏、民謡の伴奏、阿波踊りのような祭り音曲、浪曲などの大衆芸能と、急速に日本を代表する楽器となっていた。

中棹三味線は三味線の基本形とされる。初期に生まれた、短い歌詞に節を付けてつなげる「組歌」、さらに多くの詞に節を付けた「地歌」（その地の歌という意味）、その後発展した清元、常磐津などの浄瑠璃にも用いられる。しっとりとした落ち着きのある音色が特色で、箏、胡弓などとの合奏にも適している。

その後、地歌の歌詞は長くなり、歌舞伎の「長唄」として花開く。長唄では中棹よりも棹が幾分細い細棹三味線が使われる。細棹は華やかな演奏が特徴。他方、大坂で人気を誇った人形浄瑠璃の義太夫節や津軽民謡では、音に力のある太棹三味線が用いられてきた。

奏者に聴いたその魅力

## 尾上秀樹

Onoue Hideki



6歳の6月6日より、母・藤本流総大師範の藤本弥尾地に師事。三味線修行の傍らロックバンドのベース奏者として活動するも、2001年から中棹三味線に復帰。尺八の石垣秀基と「HIDE×HIDE」を結成し、2010年、ロシアのサンクトペテルブルグで行われた「第1回テレムクロスオーバー国際音楽コンクール」にて1位と特別賞を受賞。2009年から「AUN Jクラシックオーケストラ」メンバー。

母親が東京で三味線教室をやっている、小学校6年間は言われるままに習っていました。しかし「三味線なんかやってんの」と馬鹿にされる時も多く、中学時代は三味線から離れました。エレキベースと出会いバンドを始めたのですが、逆に心に余裕ができ、高校生になって母親の三味線教室を手伝おうという気持ちが生まれたのです。再び三味線を弾き始めると、エレキベースよりも三味線が好きなきことに気づき、バンド解散も重なり、三味線に回帰しました。でも、三味線教室で習った古典的な楽曲だけではなく、自分で曲を作って発信してこうと決心したのです。

### ●三味線の魅力は？

「無駄のない美しさ」という言葉がありますが、日本の古典的な楽曲には、そういった部分が多く見られる気がします。激しい曲でも、間とか侘び寂びに通じる、音と音の間の余韻や静寂があるからです。古典的な楽曲の聴き所です。

一方、現代的な演奏においては、海外で生まれた音楽でも三味線や他の和楽器で演奏すると、か

つこいと感じる相性の良い組み合わせがあります。AUN Jのレパートリーで言えば、「トルコ行進曲」や「カノン」などです。三味線がピアノのメロディを弾くと、より寂しくなったり、尺八でバイオリンのメロディを吹くと、より哀愁が漂ったりする時があります。和と洋が融合するだけでなく、和が洋を凌駕する瞬間。それがまた面白く、魅力的だと感じます。

### ●AUN 公演情報

#### AUN J クラシック・オーケストラ CONCERT 2018 米原公演 ~伊吹の森~

日時：2018年10月6日(土) 15:00開演 会場：ルッチプラザ ベルホール310  
チケット：前売2,500円、当日3,000円(中学生以下は前売・当日とも1,000円)

#### 10th Anniversary AUN J クラシック・オーケストラ CONCERT 2018

日時：2018年10月13日(土) 17:00開演 会場：秋田市文化会館 大ホール  
チケット：全席指定 前売4,800円(税込) ※当日券は500円アップ

#### Les Freres × AUN J クラシック・オーケストラ「ガラコンサート」

日時：2018年10月20日(土) 18:00開演 会場：和光市民文化センター サンアゼリア  
チケット：全席指定席 前売一般5,000円(税込) ※当日券500円アップ

詳細：<http://www.aunj.jp/jpn/livedisc/liveinfo/schedule.html>

### ●監修者：AUNプロフィール

井上公平・井上良平。1969年大阪にて5人兄弟の末の双子として生まれる。1988年、和太鼓集団・鬼太鼓座(おんどごぎ)に出会い、高校卒業と同時に入座。2000年に「AUN」として独立。2009年、邦楽界で活躍する若手を集めて「AUN」クラシック・オーケストラ」を結成。公演回数は国内外で1400回以上。子どもたちに日本文化の魅力を伝えるため、全国の小学校を訪問し、和楽器演奏と桜を植える活動もしている。



# 和楽器の 世界へ ようこそ！



♪音を聴いてみよう！

WEBサイトで、中棹三味線の音色が聴けます。  
[www.gllc.or.jp/llm/magazine/wagakki/](http://www.gllc.or.jp/llm/magazine/wagakki/)  
または、左のQRコードからどうぞ。

# 予防・統合医療の知識を広めヘルシーエイジングをサポート

## ■健康寿命延伸とヘルシーエイジングを推進

一般社団法人神戸健康大学は、神戸市を中心とした関西在住の方に健康寿命の延伸、ヘルシーエイジングを推進することを目的として、2014年に創設された。

理事長の岡田昌義氏（前神戸大学医学部教授・日本血管内治療学会理事長）は、「少子高齢化が進む日本では、平均寿命と健康寿命の差を縮めることが課題となっています。まず、病気を未然に察知する、病気を知り、病気を予防する生活習慣を知ることが大切です」と、健康に関する講演会やセミナーを積極的に開催。生涯学習開発財団が後援する「認知症ケア1級・2級」資格の創設や出張健康相談など、様々な事業に取り組んでいる。

## ■専門家による健康セミナーを定期的に開催

一般市民や医療・介護従事者に向けた定期講座「健康寿命延伸セミナー」開催も、神戸健康大学の事業の一つである。毎回異なるテーマを掲げ、病気の知識や予防医療、早期発見や治療について専門領域の講師がわかりやすく解説している。開催5年目を迎えた2018年7月、「第17回健康寿命延伸セミナー」の様子を以下に紹介する。

最初の講座は「糖尿病を知り糖尿病に立ち向かう」。神戸大学大学院医学研究科 健康創造推進学分野 教授の田守義和氏が、糖尿病内科で診療にも携わる現役の医師として、患者のエピソードを加えながら、「炭酸飲料水を好む」など、糖尿病の早期発見方法を説明。運動療法として「いつで



神戸健康大学が主催する「健康寿命延伸セミナー」では、がん、認知症、血管病など身近な病気から、美肌レーザー治療や未病改善ヨガまで幅広い講座を行っている。受講料は1回1,500円、会員は500円で受講できる（入会金5,000円・年会費6,000円）。

## ●一般社団法人 神戸健康大学

〒650-0046  
兵庫県神戸市中央区港島中町4-1-1  
ポートアイランドビル6F  
TEL：078-303-2340  
FAX：050-3488-5429  
E-mail：info@kobeuh.com  
URL：https://kobeuh.jimdo.com/  
2014年5月 設立  
2017年6月 協賛会員登録



理事長の岡田昌義氏

も、どこでも、お金がかからない」ウォーキングの推奨や、血圧や脂質のコントロールの重要性を説いた。

2つ目の講座は岡田理事長による「動脈硬化と静脈瘤、静脈弁不全について」。症例として患部の写真をスライドで見せながら、下肢に発生する静脈瘤、静脈不全、動脈硬化性病変について紹介。「動脈硬化や静脈の異変は、地震などの災害時に起こりやすい」と注意を促し、「毎日お風呂に入ったときに足の裏を見ることが。腫れや違和感など、普段と何か違うと思ったら検診を受けてください」と早期発見の方法を説明した。

## ■声を出し、身体を動かす「音楽療法」体験

最後は、兵庫県音楽療法士の細川真理氏による「音楽療法」の体験講座。土佐の郷土楽器「鳴子」と音楽教材「トーンチャイム」が受講者・講師陣・スタッフに渡され、チームに分かれて楽器を鳴らし、歌を歌うゲームを行った。リハビリや介護、緩和ケアなどの医療現場で行われている音楽療法に、受講者も心と体を癒やされていたようだ。岡田理事長からも「座学中心の今セミナーで、実技を伴う体験講座は始めての試みだったが、今後も取り入れていきたい」と感想が述べられた。

健康に関心を持つ市民、医療現場で働く人たちなど、受講生にはリピーターも多く、あちこちで挨拶が交わされている。神戸健康大学は、和やかなムードの中で専門知識を提供し、社会貢献の場を創出している。